

川棚民報

2024年1・2月号外 定例川棚町議会の報告を紹介します
発行 日本共産党川棚支部 電話 090-9790-5564



日本共産党川棚町議会議員

辻きよと 町議会報告

日本共産党の辻きよと町議は、12月定例議会で、石木ダム建設問題、子育て支援、海沿いに住む町民の生活と環境について一般質問をしました。

地元住民はこの地に住み続けたいだけ

合意のないダム建設はやめよ

日本共産党の辻きよと議員は、6月議会、9月議会に続き12月議会でも第1番目に石

木ダム建設問題について一般

「ん」と追及しました。

地元3郷の総代と町長と 取り交わした覚書は生きている

辻きよと議員は9月議会に続き地元3郷と町長との「覚書」について質問しました。行政と地元3郷の総代と取り交わした契約書ですから履行

座り込み住民は 妨害者ではない

県は座り込みの住民を妨害者と言うが、ここに住み続けたいと願っている人々の生活を破壊する県の方が妨害者で

6千万円、佐世保市が5億円、県が5億円拠出して5年前に国から公益法人の解散命令が出された時点で6千万円は、川棚町に返金されるべきでした。しかし新たな石木ダム地域振興対策基金



ダンプの往来で損傷した石橋を補修する

しなければなりません。行政と地元3郷の立場が明記され、約束事が条文化され、日付、署名、捺印されています。覚書は拘束力があり今なお生きています」と述べ、「覚書には、『建設の必要性が生じたときには、改めて三郷と協議の上、書面による同意を受けた後着手するものとする』と書かれています。住民の同意は、今なおありませ

石木ダム地域振興対策基金は町に返金を

川棚町では昨年10月から今年の3月まで、小中学校の給食費の無償化が実現しています。これは物価高騰対策交付金の活用で実現していますが、今年4月からはまた有料になります。全国では、小中学校の給食費は無償化が進んでいます。今年度無償化実施予定自治体は491、小学校のみは14中学校のみは17です。

学校給食費の無償化を

住促進を目指し、安心して生活できるように算化していただきたい。波佐見町では、実現できています」と質問しました。

町長答弁
4月からは約4500万円の予算が必要になる。無償化の実現のためには歳出の見直しと共に新たな財源の確保が必要になる。現在担当課に検討を実施させており、無償化に向けて段階的に進めていく。

に移されました。辻きよと議員は、「6千万円は川棚町民の血税であり返金すべきではないか」と追及しました。

町長答弁
①覚書については、昭和49年度に調査が終わり、その結果を三郷に回答また公表している。このことから、現在は効力が無いものと引継ぎを受けている。

②基金については、地域振興策を行うためにこの基金は必要なものと考えている。基金の目的が達成していない中で、町から出捐した基金の返金を求めることは考えていない。